

令和7年第4回定例会(12月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和7年第4回定例市議会（12月議会）は、11月25日から12月22日の28日間開催されました。令和7年度一般会計補正予算等の予算議案7件、条例議案7件、人事案件5件、その他議案12件、報告案件3件、請願2件、意見書1件の計37件が上程され、請願1件を否決し、それ以外の議案を原案どおり可決しました。

令和7年12月議会一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 中山間地域の活性化に向けて

- ①周辺地域振興対策推進会議の成果と課題 ②地域自治区への移行は
- ③地域運営組織(RMO)の構築は

2. 県による宿泊税の導入に反対

- ①中津市のスタンス
- ②中津市の観光振興につながるのか

3. 花粉症対策について

- ①森林面積、市有林に占めるスギ、ヒノキ、広葉樹林の面積
- ②少花粉のスギ、ヒノキ苗の植林の実績、支援策
- ③花粉を出さない無花粉スギの植林の推進

4. 遠距離通学への支援の拡充

- ①スクールバスの充実
- ②小中学生の遠距離通学の実態
- ③遠距離通学への支援の拡充



一般質問議事録抜粋



令和7年12月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 令和7年度一般会計補正予算(第3・4号)

補正額 14億4562万円(補正後予算額497億468万円)

《新規・拡充事業（抜粋）》

□防犯カメラ設置補助金事業 ；118万円

- ・ 補助金申込みの増に対応
- ・ 2件⇒8件
- ・ 20万円／地区
- ・ 補正後予算額；158万円



新大塚町防犯カメラ ●4

□児童福祉運営事業；1億708万円

(内国庫補助金6619万円、県補助金1056万円)

- ・ 私立保育所運営費や認定こども園等給付費、他市保育所運営費に係る公定価格（人件費等）の見直しによる増額補正
- ・ 補正後予算額；35億8915万円



□障害児通所給付事業；9328万円

(内国庫補助金4666万円、県補助金2333万円)

- ・ 利用者延べ人数が増加したことによる増額補正
- ・ R6実績 6,106人⇒R7実績見込 6,937人（831人増）
- ・ 補正後予算額；7億8551万円

□病院事業会計繰出金事業；1億8211万円

(全額地方交付税で措置)

- ・中津市民病院の救命救急センター指定に伴う、病院事業会計負担金（救急医療の確保に要する経費）の増額
- ・救命救急センターは、心筋梗塞、脳卒中、多発外傷などの重篤な救急患者を24時間体制で受け入れ、高度な救命医療を提供する三次救急医療機関です。



□生活保護扶助事業；9467万円(内国庫補助金7101万円)

- ・生活保護人員が増加したことによる増額補正
- ・R6上半期実績 6,731人⇒R7上半期実績 6,944人（213人増）
- ・補正後予算額；18億4855万円

□女性創業・起業支援補助金事業；200万円

- ・補助金申込み増に対応（3件⇒5件）
- ・補正後予算額；500万円

R7年12月17日中津市女性起業家
支援事業 ビジネスアイデア発表会



□中津市中学校体育連盟補助金事業；158万円

- ・貸切バス代高騰に伴う、大会の生徒輸送に係る交通費の増額
- ・補正後予算額；1887万円

《物価高騰対策》

□住民税非課税世帯給付金給付事業；1億2737万円 (内国庫補助金1億2737万円)

【事業の概要】

物価高騰の影響を大きく受けている住民税非課税世帯に対して、物価高騰対応プレミアム商品券1冊分の購入費用にあたる1万円を給付し、家計を支援する。

- ・給付額；1万円／世帯
- ・給付対象見込；12,000世帯
- ・給付時期；令和8年3月（予定）
※2月に対象者へ通知



□物価高騰対応プレミアム商品券発行事業；2億9400万円 (内国庫補助金1億200万円、県補助金1億9200万円)

【事業の概要】

食料品等の物価高騰により影響を受けている市民と市内事業者を支援するため、県、商工会議所と連携し、第8弾プレミアム商品券を発行する。

- ・発行総額；11億7000万円、販売額等；9億円（発行数9万冊、プレミアム率30%）
- ・使用期間；令和8年3月19日～6月30日（予定）
- ・購入対象者；中津市在住者優先

※申込数が発行冊数を下回った場合、市外の大分県民にも販売

- ・限度額；3万円/人（申込み多数の場合は限度額を引下げて申込者全員に配付）



商品券のイメージ

□物価高対応子育て応援手当支給事業；2億6868万円

(内国庫補助金2億6868万円)

【事業の概要】

国の「強い経済」を実現する総合経済対策」にもとづき、物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、こどもたちの健やかな成長を応援する観点から、児童1人あたり2万円の給付を行うことが決定されました。

- ・子育て世帯に対して、物価高対応子育て応援手当を支給する。
- ・対象者；児童手当支給対象児童（令和7年10月1日時点）を養育する父母等

※令和7年10月1日以降令和8年3月31までに生まれる新生児も対象

- ・給付対象見込；13,246人（7,226世帯）
- ・給付額；児童1人あたり2万円
- ・支給方法；申請不要のプッシュ型で支給(公務員など一部要申請)
- ・給付時期；令和8年2月（予定）



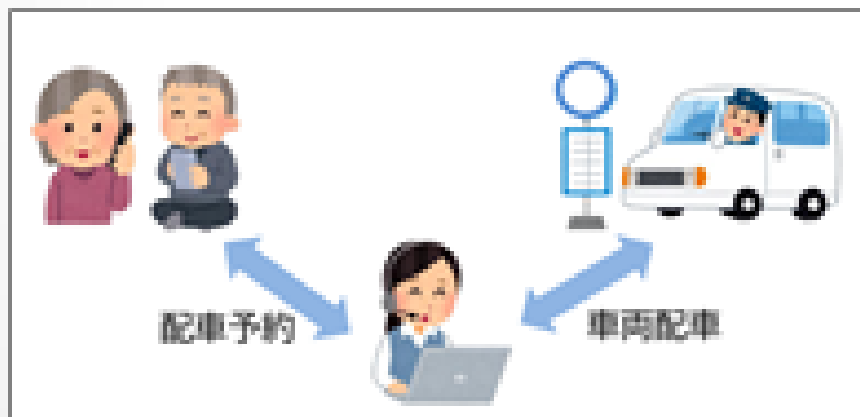
《債務負担行為（抜粋）》

※翌年度以降に自治体が金銭的負担をする場合に、その内容や限度額などを予算書に定めておくものです。

□デマンド交通実証実験支援委託事業；432万円以内

（令和8年度まで）

- ・令和8年度より旧中津・三光地域の一部でデマンド交通の実証実験を実施するため、エリア選定などの業務支援を委託する。



デマンド交通の配車イメージ



山国町デマンドタクシー

□文化会館空調整備事業；2億3300万円以内

(令和8年度まで)

- ・令和8年度に中津文化会館空調機器の経年劣化に伴う設備の更新を行うため、製品の発注等を事前に準備する。。

□コアやまくに施設整備事業；7820万円以内

(令和8年度まで)

- ・アイススケートリンク製氷機（1台）の更新



□可搬式排水ポンプ購入事業；1億8000万円以内

(令和8年度まで)

- ・東浜、北門橋の仮設ポンプを可搬式排水ポンプに増強する。
- ・東浜ポンプ場（排水能力； $15\text{m}^3/\text{分} \times 3\text{台}$ ）
- ・北門橋ポンプ場（ $15\text{m}^3/\text{分} \times 3\text{台}$ ）



三ノ丁地区可搬式排水ポンプ



堀川地区可搬式排水ポンプ

2. 条例の制定・改正（抜粋）

□中津市火災予防条例の一部改正

- ・ 林野火災予防の実効性を高めるため、林野火災に関する注意報及び警報を的確に発令し、火の使用の制限区域を設定するとともに、たき火も届け出対象とする。



□中津市立図書館条例の一部改正

- ・ 図書館の休館日のうち、月末整理日を利用者にとってわかりやすく固定化（毎月最終金曜日）し、併せて休館日が休日である場合にその翌日を休館日とする扱いを削減する。

□中津上毛環境事務組合規約の制定

- ・ 中津市と上毛町で、ごみ処理施設の建設及び管理運営に関する事務を共同処理するため一部事務組合を設置するもの

3. 財産の取得

□高規格救急自動車

- ・ 配置場所；消防本部
- ・ 数量；1台
- ・ 取得の方法；指名競争入札
- ・ 取得価格；2898万5000円
- ・ 電動ストレッチャーを装備



高規格救急車のイメージ

- ・ 高規格救急車では、医師の指示により救急救命士が高度な救命処置を講じることが可能。
- ・ 車内でできる処置は、心電図、血圧測定、酸素濃度測定、心肺蘇生機の装着、軌道確保、骨折箇所固定、医師の指示に基づくアドレナリン投与
- ・ 本契約（電動ストレッチャー含む）の他に資機材を搭載するため、合計4500万円程度となる。
- ・ 高規格救急車配備；本署2台、分署1台、出張所1台、予備車2台

4. 財産の処分

□旧雇用促進住宅の土地及び建物の処分

- ・ 所在；中津市大字下池永字八田島77番4外1筆、地目；宅地、地籍6,968.83m²
- ・ 建物の構造；鉄筋コンクリート造陸屋根5階建2棟外附属建物、床面積4,866.74m²
- ・ 処分の方法；一般競争入札
- ・ 契約の金額；9611万円



□購入価格；69,944,479円（H21年）

□最低売却価格；30,300,000円

（鑑定評価額131,000,000円－解体費100,700,000円）

5. 人 事

□中津市教育委員会委員

江 渕 真奈美さん（満46歳）新任

耶馬溪町大字金吉在住

6. 意見書

□介護・障害・児童福祉サービス等報酬の
引き上げ等を求める意見書 【採択】



7. 請 願

□高齢者の聴力検査・検診及び加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設に関する請願書 【採択】



□最高裁判決に従い生活保護制度の充実を求める請願書 【趣旨採択】

※趣旨採択とは、請願の願意については十分に理解できるが、財政事情等から当分の間は願意を実現することが困難な場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることがあります。

□中津市発注の公共工事を調査するための第三者委員会の設置に関する請願書 【不採択】

8. 自由討議

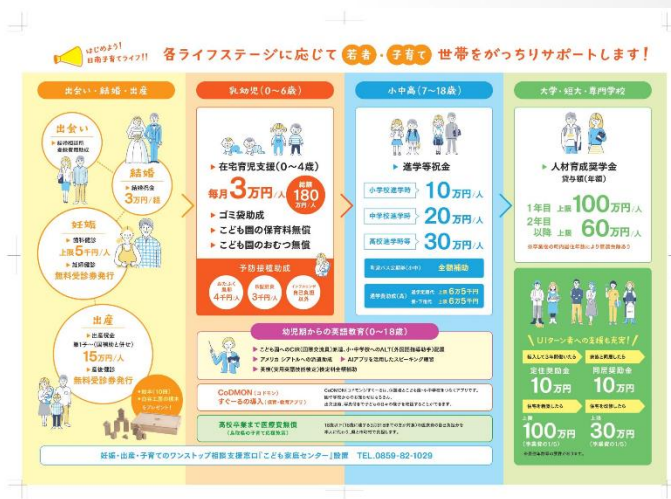
(1) 中山間地活性化について (補足説明者：恒賀慎太郎議員)

【提案理由】

平成17年の大合併以後、人口減少に歯止めが効かない現状に対して、移住も含めた中山間地の魅力を発掘する為、多くの議員と意見を交わしたい。

【テーマ】

- ①林業振興について
- ②子育て支援による人口減少対策
- ③交通の不便さ解消へ



鳥取県日南町の子育て支援策

(2) 廃校の跡地利用と津民小学校を最後の廃校とするために (補足説明者：大塚正俊議員)

【提案理由】

来年3月には津民小学校を廃校とすることを決定しました。市内には廃校となった校舎やグラウンドが数多く残っており、貴重な市有財産の利活用を推進する必要があります。また、市町村合併から20年が経過する中、過疎化や少子化によって3校が廃校となります。

学校が無くなることは、そこに連綿として生きてきた地域の人々の息遣いが消えることとなり、地域の活力や絆を守るためにも学校を存続していかなければなりません。そこで、津民小を最後の廃校とするために、何をすべきなのかを皆で考えたいと思います。

【テーマ】

- ①廃校の利活用を進める方策
- ②廃校に歯止めをかけるために何をすべきか
- ③その他

【配布資料】

<https://m-ohtsuka.com/masatoshicms/wp-content/uploads/2025/12/%E9%85%8D%E5%B8%83%E8%B3%87%E6%96%99.pdf>
<https://m-ohtsuka.com/masatoshicms/wp-content/uploads/2025/12/%E9%85%8D%E5%B8%83%E8%B3%87%E6%96%992.pdf>
<https://m-ohtsuka.com/masatoshicms/wp-content/uploads/2025/12/%E9%85%8D%E5%B8%83%E8%B3%87%E6%96%993.pdf>
<https://m-ohtsuka.com/masatoshicms/wp-content/uploads/2025/12/%E9%85%8D%E5%B8%83%E8%B3%87%E6%96%991.pdf>



東谷小学校跡地

“～師走恒例の「今年の漢字」は「熊」～”

昨年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」は、「熊」に決まりました。熊による人身被害者数・死亡者数がともに過去最多となったことや、連日の熊による獣害が多く報道されていることが挙げられています。

2012年、環境省は九州からツキノワグマが絶滅したと宣言しました。しかし、イノシシやシカ、アライグマ等による農作物への被害は深刻で、特に近年は増加傾向にあり、中山間地域の農業と暮らしを守るため、更なる鳥獣被害対策を求めていると思います。

今年も初心を忘れず、皆様方の期待と信頼に応えられるよう頑張っています。

中津市議会議員 大塚 正俊



編集後記（ひとりごと） 早いもので、昨年1月の肛門管がんの手術から約1年になります。手術の経過も良く、がんの再発は見られません。ジャンーの法則により「歳を取ると時間が早く過ぎる」と言われますが、最近特に実感するようになりました。

（まさとし）